

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

低学歴社会に向かう日本 山極 壽一（日本学術会議会長、京都大学総長）

1. 世界で有名な研究型の理系大学といえば、米マサチューセッツ工科大学（MIT）や、独カールスルーエ工科大学（KIT）、独ミュンヘン工科大学などだ。これらは、科学、技術、芸術、数学と呼ばれる理系、芸術の分野だけでなく人文科学や社会科学も教養、あるいは専門教育として教えている。理系の学問を研究するには総合的な知識も必要で、技術が先導する社会の危うさが表にでてきたからだ。
2. GAF A（グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン）の経営者のように、技術者が社会の頂点に立つという風潮が顕著になってきているが、それに対する反省が世界で広がっていると思う。嘆かworthyなのは、日本の小中学生、高校生が先端的な科学技術の目立つトピックだけに着目している点。技術は人間や社会のためになるもの。人間と社会はいったいどんな存在なのか。どういう未来が開けているのかということ的前提にしなければ、技術は使えない。
3. 危ぶんでいるのは、日本が低学歴社会になりつつあるということ。大学院の博士課程に進学する学生が減少し続けている。ほかの先進国とは逆の傾向だ。これからはモノや金ではなく知識を集約し、それを使っていかに新しい価値を創造するかということが重要になってくる。

（参考：「週刊東洋経済」2019年11月30日号）

幹部への活きた言葉

ビジネス文章の3原則

飯間 浩明（国語辞典編纂者）

1. ビジネス上の文章を書く力はどのように磨けばいいのかわかる。実は、「書く力」を磨くための原則がある。それは「構造を意識する」「相手を意識する」「語感を意識する」の3つだ。この3原則さえ押さえれば、「書く力」を飛躍的に伸ばすことができる。日本人はついつい細かなテクニックにこだわりがちだが、まずは、大枠でもいいので全体像をつかむべきなのだ。それがすなわち「文章の構造」だ。
2. 次に、文章を「読む相手」が存在する限り、好き勝手に書きたいことを書くわけにはいかない。相手の状況を踏まえたり、想像したりしながら文章を書かないと、読んでももらえないかもしれない。また、文章も語感を整えることで、読んでいて気持ちのいい文章になる。相手に与える印象も格段に変わり、今後も一緒に仕事をしたいと思ってもらえるだろう。

（参考：「週刊ダイヤモンド」：2019年12月21日号）

経営者のための営業学

日本最古の百貨店が抱く葛藤

1. ビックカメラが日本橋三越本店に出店する。三越側は品ぞろえ強化で外商の優良顧客をつなぎ留める狙いがある。テナントとしての出店だが、両社と一緒に売り場を作っていくという珍しい試みだ。日本最古の百貨店と個性の強い家電量販店という組み合わせだ。
2. ビックカメラは、令和2年初めに、三越伊勢丹ホールディングスの旗艦店、日本橋三越本店内に「ビックカメラ日本橋三越本店」（仮称）を開店する。ビックカメラはフロアの一部を間借りする。1904年に「デパートメントストア宣言」をし、呉服店から日本初の百貨店となった日本橋三越本店だ。これまで外部へのフロア賃貸はレストランに限り、自らは商品を仕入れ、売り場を作る伝統的な手法を維持してきた。小売店へのフロア賃貸は初めてとなる。

（参考：「日経ビジネス」2019年11月25日号）

古典に学ぶ

信の一字

（解説）将来どう変化するだろうかという予想は、もっとも慎思熟慮を要することと思う。その経営せらるる事業に応じてよろしきを制して行くということは必要だろうと思うが、これを処するについては是非一つ守らなければならぬことは、商業道徳である。約すれば信の一字である。これが実業者に健全に行われていったならば、私は日本の実業界の富はさらに増大して、同時に人格も大いに進むであろうと思う。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）